

会 議 録 要 旨

1. 会議名称	令和7年度 第1回 恵庭市公営企業経営審議会
2. 開催日時	令和7年9月4日(木) 13時00分～14時30分
3. 開催場所	恵庭市民会館2階 視聴覚室
4. 出席者名	【委員】宇野 二郎 中川 淳一 大滝 裕子 佐々木 聡 安藤 隆善 茶園 利紀 鰐淵 三津枝 熊谷 洋子 橋本 千津子 竹本 加奈恵 【市側】(水道部部長) 江蔵 正治 (水道部次長) 長谷 晃司 (経営管理課長) 佐藤 洋介 (同主査) 小柴 仁美・五十嵐 大人 (同スタッフ) 飯田 更紗・小山 尚基 (上水道課長) 廣瀬 新 (下水道課長) 金 伸彦
5. 審議会の経過	※以下は、事務局が発言の要旨を要約しており、いわゆるテープおこしをしたものではありません。 (1) 開会 (2) 委嘱状交付 (3) 市長挨拶 (4) 委員・職員自己紹介 (5) 会長・副会長選出 (6) 報告 【令和6年度 公営企業会計決算について(資料①)】～【下水道GXの取り組みについて(資料⑤)】の各報告ごとに、説明と質疑を行う形式とした。 ○令和6年度 公営企業会計決算について(資料①) ※経営管理課長より説明。 <質疑応答> (委員) 水道事業、下水道事業ともに資本的収支の不足額について、消費税資本費調整額、減債積立金、損益勘定留保資金で補填とあるが、減債積立金の考え方や残額についてお聞きしたい。また、今後の経営の見通しについても伺いたい。 (説明員)

減債積立金は将来返済しなければならない企業債（借入金）に備えて、あらかじめ資金を積み立てておく仕組みのことであり、恵庭市では当年度の純利益をそのまま減債積立金に積み立てており、概ね全額を翌年度の元金償還金に充てている状況である。また、資本的収支不足額の補填財源の大半を占めるのは損益勘定留保資金であり、収益的支出のうち、非現金支出である減価償却費がそれにあたる。今後については、物価上昇等のほか施設の老朽化に伴い、投資額が増加していくことから、経営環境が厳しくなることが見込まれる。

（委員）

P 3「資本的収支の状況」における緊急貯水槽の記載について、予算自体は令和5年に計上されたとの認識で間違いはないか。

（説明員）

そのとおりである。緊急貯水槽の整備費については令和5年度中に収入・支出ともに補正予算を計上したが、令和5年度中に事業を終えることが出来なかったため、同額の予算を令和6年度に繰越したものである。

○恵庭市上下水道経営戦略の進捗状況について（資料②）

※経営管理課長より説明。

<質疑応答>

（委員）

P 3 緊急貯水槽整備計画の推進について、「期末（R 1 1 年度末）目標値については経営戦略中間見直しにて整理」となっているが、どのように整理したのか。また、現時点で設置が2基となっているが、評価が「事業完了」となっているのはなぜか。

（説明員）

当初（中間見直し前）の経営戦略では経営戦略期間内（令和11年度まで）に4基整備を目標としていたが、昨年度の経営戦略中間見直しにおいて、近年の全国的な災害事例を踏まえ、老朽化対策や耐震化の重要性を鑑み、（限られた財源を効果的に充てる観点から）、事業の優先度を意識し、当面の間は、配水管の更新に重点を置く方針とし、経営戦略期間内での整備目標を2基整備に見直したところである。（残る2基は整備スケジュールを見直した。）

評価については、見直し後の整備目標を達成していることから「事業完了」と記載したところである。評価については、今後とも丁寧に示して参りたい。

(委員)

P 3 キャッシュレス決済の拡充について、「クレジットカード決済については継続検討」となっているが、現在の検討状況についてお聞きしたい。

(説明員)

直近の動向として、道内の主要都市の約 3 割が上下水道料金の納入方法にクレジットカード決済(継続払い)を導入しているが、大半は手数料を自治体負担としている。クレジットカード決済は他の支払方法と比較しても手数料が割高なこともあり、当市の試算ではクレジットカード決済を導入した場合、数百万円の負担増となる。なお、この手数料の負担増については、過去の経営審議会でも議論されたところであった。

一方、本市では、キャッシュレス決済としてバーコード決済も導入しており、支払方法の拡充により、利便性の向上を図ってきたところである。

以上を踏まえ、クレジットカード決済の導入については、費用対効果を勘案の上、引き続き、検討して参りたい。

(委員)

P 5 財政収支計画の 6. 国(都道府県)補助金において前年度比較が増加している理由についてお聞きしたい。

(説明員)

緊急貯水槽の整備に伴う補助金収入の増加である。

(委員)

P 9 財政収支計画の他会計補助金が計画額に対して決算額が減少している理由についてお聞きしたい。

(説明員)

他会計補助金については一般会計からの繰入金になっており、分流式下水道に要する経費などが対象となるが、汚水処理経費が計画値より少なかったことが要因である。

○資金運用について(資料③)

※経営管理課長より説明。

<質疑応答>

(委員)

「長期運用」「短期運用」とあるがそれぞれどれくらいの期間を指しているのか。

	また、投資対象の考え方についてもお聞きしたい。 (説明員) 長期は1年以上、短期は1年未満の運用を考えている。投資対象については、元金の償還が確実な債権を運用対象としており、信頼性がある債権として国債や地方債を想定している。なお、国債と地方債である北海道債とを比較した場合に、若干ではあるが北海道債の利率が有利であるため、現時点では、北海道債を長期運用の対象として想定している。 (委員) 定期預金について、預入先の銀行の選定はどのように行っているか。 (説明員) 毎年、見積合わせを実施し、有利な利率の金融機関を選定している。 ○恵庭市水道事業給水条例の一部改正について（資料④） ※上水道課長より説明。 <質疑応答なし> ○下水道GXの取り組みについて（資料⑤） ※上水道課長より説明。 <質疑応答なし>
(4) その他	○今後のスケジュール・委員報酬等の支払いについて ※経営管理課スタッフより説明。
(5) 閉会	終了時間 14 : 30